

令和元年度 中央中学校学校評価

[各校の重点取組について]

・学力向上を図る。 ・道徳教育を推進する。 ・信頼される学校をつくる。 ・勤務時間の適正化を図る。

学校教育に関する重点取組

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む	評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
(1) 授業改善の取組を促進するとともに、家庭との連携により、学力向上を推進する (2) 特別支援教育の取組を充実させ、自立や社会参加に向けた主体性を育成する (3) 食育を通して生活改善の取組を促進し、望ましい生活習慣を育成する (4) 体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る	3	3
取組とその成果	課題と改善策	
①ICTにおける先進校視察を行い、本校において必要かつ採り入れ可能なことがらについて研究する。 ②ユニバーサルデザインの考えを取り入れた全ての生徒にわかりやすい授業づくり、環境づくりを推進する。 ③家庭科の授業を中心に、教育活動全体を通して、食に関する知識を身に付けさせるとともに、実生活における望ましい「食」を考えさせる。 ④保健体育科や運動系のクラブ活動を通して、体育やスポーツの楽しさを味わわせる。また、心身ともに健康に生きることの大切さについて知らせ、実生活においてその実践を図ることができるようにする。	①教員1名をつくば市に派遣し、ICT活用先進校3校を視察した。環境の違いはあるが、今後、本校において取り入れることが可能なことを検討していく。 ②教員の多くが視覚的に捉える授業づくりを実践しており、さらに、誰もがわかる授業をめざし、研究を進めていく必要がある。 ③家庭科の調理実習等を通して望ましい食生活について学習しているところである。 ④生涯スポーツの観点から保健体育やクラブ活動において、心身ともに健康に生きることの大切さを伝えているところである。	

2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る	評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
(1) 基本的な生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る (2) 道徳性育成の取組を促進し、思いやりに満ちた人間関係及び社会とのかかわりづくりに努める (3) 各校のいじめ防止基本方針に基づき、誰もがすごしやすい学校の環境づくりに努める (4) キャリア教育の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する	3	3
取組とその成果	課題と改善策	
①本校学校生活の基本である『時を守り、場を清め、礼を正す』の徹底を図っていく。 ②道徳科の時数確保、質の向上、評価のあり方について研究し、思いやりの気持ちのある生徒を育む。 ③いじめの未然防止・早期発見・早期対応等について、本校の『いじめ防止基本方針』に照らして組織的な対応を図る。 ④トライやる・ウィークや学級活動、体験活動、進路学習等を通じて、夢や目標を持ち、それに向かって進むことのできる力の育成を図る。	①学校生活の基本は、あらゆる場面において啓発しており、引き続き根気強く指導を行っていく必要がある。 ②時間の確保と22項目の実施、道徳科の授業づくりについて外部講師による研修も含め行っているところである。 ③生徒指導委員会やいじめ対応チームが中心となり、いじめ事案に真摯に向き合い、生徒や保護者の気持ちを大切にしたい対応を図っている。 ④教職員は、進路指導を含め、キャリア教育の視点を持ちながら行事等の取り組みを行っているところである。	

3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む	評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
	3	3
(1) 教職員の資質向上の取組を促進し、業務改善を進めながら学校の組織力及び教育水準の向上を図る (2) 地域の教育力を活用した取組を促進し、地域とともにある学校園づくりを推進する		
取組とその成果	課題と改善策	
①校内教科部会において教科目標、個人において個人目標を年度当初に設定し授業研究を行う。年度末には教科・個人の達成状況を振り返り次年度への課題を設定する。 ②週1回の定時退勤日、各自で設定するMy定時退勤日を設定し、計画的な業務の遂行を図る。また、校内各委員会による組織的な教育活動を推進する。 ③PTA主催の「校内見回り隊」や祭礼補導等により、保護者と学校の連携をより強固な関係にしていく。 ④小・中学校の児童会と生徒会が協力し、地域も巻き込んだ活動を展開する。	①教職員は、個人目標の達成状況を自己点検し、次年度の課題としている。 ②教務担当を中心に、組織的な業務改善を図っているところである。 ③PTA地域部が中心となって、授業中の見守り(週2回)や地域の行事における安全指導を推進している。 ④児童会と生徒会が合同で取り組むべき課題を検討しているところである。	

4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る	評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
	3	3
(1) 安全教育的取組を促進し、登下校及び学校園内の安全確保を図る (2) 防災教育的取組を促進し、危機管理能力の向上を図る		
取組とその成果	課題と改善策	
①自転車教室やスマートフォン等の講習会を実施し、自他の安全面に配慮できる生徒の育成を図る。 ②自らの命を守るため、学級活動や避難訓練等を通じて、津波や地震、火災等に対する防災・減災意識を高める。	①警察等、関係機関の協力を得て、自転車やスマートフォンの講習会を実施し、啓発を図っているところである。 ②校内で防災教育を実践するとともに、EARTHの協力を得て防災・減災意識を高める取り組みを行っているところである。	

教育目標		評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
		(1) 教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 教育目標の具現化と指導の充実	3
取組とその成果		課題と改善策	
<p>①学校生活の基本である『時を守り、場を清め、礼を正す』を実践させ、落ち着いた学校生活を送らせる。 ②教科指導や生徒指導等、教職員の組織的な対応により、知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育む教育活動を推進する。</p>		<p>①学校生活の基本は、あらゆる場面において啓発しており、引き続き根気強く指導を行っているところである。 ②教科の授業や道徳科、体育やクラブ活動など、学校のあらゆる場面において知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育む教育活動を行っているところである。</p>	

研究テーマ		評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
		(1) 研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 研究テーマの具現化と指導の充実	3
取組とその成果		課題と改善策	
<p>研究テーマ 「学びに向かう力」をはぐくむ指導の工夫 －主体的な学びを引き出す学習指導－ －ユニバーサル化の推進－ －考え議論する道徳科授業の創造－</p> <p>①ICTの活用、ペアトークやグループ学習等の授業形態を図りながら、主体的な学習態度を育成する。 ②ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくりと環境整備を行う。 ③生徒が主体的に考え、議論する道徳科の授業研究を推進する。</p>		<p>①ICTや視覚的な教材を活用し、教科内容に興味を持たせるとともに、協働的に活動したり、一人で考えたりする時間を工夫しているところである。 ②上の①とともに、だれもが分かる授業をめざして日々、研究・実践しているところである。 ③道徳科の授業において、友人と活発に議論する場面を工夫・研究しているところである。</p>	

		評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
取組とその成果		課題と改善策	